

ひ
ら
り



日本画 オノマデ



ぞふん

ごうごう



2025.9.27 SAT — 12.21 SUN

開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで（入館はいずれも閉館30分前まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

*会期中の休館日：9/29、10/6・14・20・27、11/4・10・17・25、12/1・8・15

観覧料：一般200(160)円・大高校生160(100)円

*（ ）内は、20名以上の団体割引料金

*インターネット割引券ご提示で2名様まで団体割引料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名は無料。
受付で手帳もしくは障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。

*65歳以上の方、中学生以下は無料。

受付で身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等）をご提示ください。

*10月28日（火）は群馬県民の日につき観覧料は無料です。

主催・会場：高崎市タワー美術館 〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773 / FAX 027-321-7277

左上：歌川国芳《人真根の申 英雄大徳十二士 御曹子牛若丸》（部分）高崎市タワー美術館蔵／「ひらり」

右上：横山大観《朝陽映島》（部分）1939年頃 高崎市タワー美術館蔵／「ぞふん」

左下・右下：富田侯仙《壺を渉る鹿》（部分）1931年 寄託作品／「ごうごう」「タンタン」

高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART



日本画 オノマトペ

雨が「ざあざあ」と降る。花びらが「ひらひら」と舞う。「ふわふわ」の毛並み。触れると「ちゅちゅ」しそうなトゲ。作品を鑑賞していて、こういった言葉が浮かんだことはありませんか？日常的に思わず口をついて出る、このような擬音語や擬態語のことを「オノマトペ」といいます。作品と向き合った時、どのようなオノマトペが自分の中から生まれてくるのか。本展覧会では想像力を働かせるとともに、作品を通して自分だけの音を見つけながらお楽しみください。



2



4



5



3



1

- 1 伊東深水《雪の夜》1925年 高崎市タワー美術館蔵
／「ぬくぬく」と温まる
- 2 依田万実《Moon Rabbit-風の谷を越えて》2008年 寄託作品
／うさぎが「びょーん」
- 3 田淵俊夫《めひしば》1975年 高崎市タワー美術館蔵
／「そよそよ」と葉が揺れる
- 4 奥田元宋《月山秋暈》1996年 寄託作品
／水面が「きらきら」輝く
- 5 歌川国芳《浮世又平名画奇特》高崎市タワー美術館蔵
／「がやがや」騒がしい

関連事業

① 対話型鑑賞イベント「おしゃべり鑑賞会」

日 時 | 12月7日(日)午後2時～午後3時、
12月12日(金)午後6時30分～午後7時30分
内 容 | 展示作品をみながら、感じたこと、考えたことなど、あれこれおしゃべりしてみましょう！主に県内で活躍する「対話型アート鑑賞ラボ」のメンバーが、みなさんのおしゃべりをお手伝いします。
定 員 | 各回8名(先着)
参加費 | 無料(要観覧料)
申込方法 | 9月27日(土)午前10時から電話で受付(TEL 027-330-3773)

② 学芸員による作品解説会

日 時 | 9月27日(土)、10月12日(日)・10月29日(水)、
11月9日(日)・11月29日(土)、12月20日(土)
午後2時～
参加費 | 無料(要観覧料) 申込 | 不要

高崎市美術館 展覧会のお知らせ

企画展
「福沢一郎の旅行カバン
画家とゆく世界の旅」

2025年
10月18日(土)～
12月21日(日)

お問い合わせ
高崎市美術館
TEL 027-324-6125



交通案内：JR高崎駅東口より徒歩2分
駐 車 場：上記5カ所の駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示等していただくと、1時間の無料駐車券をお渡しいたします。

割引券



高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART
群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773